

（8 月）海陸風

海陸風は良く晴れた夏の日に現れる気象現象。県内でも沿岸部を中心に日中は海からの風が吹き、夜は陸からの風が吹く。昼夜で風向きが逆転する。海風は日中太陽の熱で陸地が暖められ、海上より気温が高くなることで起こり、陸風は夜に陸地が冷えて、海上より気温が低くなることで起こる。海風より陸風の方が弱いのが一般的である。また海風と陸風が交替こうたいするときには無風状態となり、日没後の無風状態を「夕なぎ」、日の出後の無風状態を「朝なぎ」という。

静岡市内では午前 9 時～10 時頃に海風（南よりの風）に変わることが多く、日中の気温上昇を抑える効果もある。

（備考）甲子園球場で行われる夏の高校野球では、海からの吹く風で試合に影響を与えることがある。「浜風」と言われ、海陸風的一种である。

（鈴木 徹）